

# 宇商、初戦敗退

## 下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒320-8686  
下野新聞社  
電話 028-625-1111  
郵便振替口座 00180-1-623433  
©下野新聞社2012

読者室 028-625-1179  
(受付 月～金 午前10時～午後6時)  
編集局 028-625-1121  
販売部 028-625-1120 (販売)  
事業部 028-625-1134 (事業管理)  
営業部 028-625-1133 (広告)

下野新聞社ホームページ

http://www.shimotsuke.co.jp/

## 電子号外

下野新聞購読お申し込みは  
0120-810081

携帯、スマホで毎日のニュースを!!

下野新聞 SOON  
月額262円  
下野新聞 検索



宇都宮商一鳴門(徳島)2回戦 善戦したものの1-2で初戦敗退となり、試合後アルプススタンドへのあいさつを終えた宇商ナイン=23日午後、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場、福田守撮影

### 選抜 高校野球 1-2、打線つながらず

第85回記念選抜高校野球大会第2日は23日、阪神甲子園球場で1、2回戦を行い、関東地区代表で34年ぶり3度目の出場を果たした本県の宇都宮商は、2回戦で鳴門(徳島)と対戦、1-2で惜しくも敗れた。先制したのは宇商。三回

表、右中間三塁打で出塁した先頭の柴山和博が、相手投手の暴投で生還し1点を奪った。しかしその裏、先発の飯岡健太が2死二塁から相手4番打者に中越え適時二塁打を打たれて同点とされた。四回からはエース新井諒が二番手で登板。鳴門打線を七回まで1安打と、ほぼ完ぺきに封じてきたが、八回につかまった。先頭打者の二塁打などで1死一、三塁とされると、

このピンチでスクイズを見破り三走をタッチアウトとしたが、中前に落ちる安打を許し決勝点を奪われてしまった。宇商は最後まで粘りをみせ、九回に君嶋謙蔵の右越え二塁打などで2死一、三塁と同点機をつくったが及ばず。34年ぶりの勝利を飾ることはできなかった。強打を誇る鳴門に対し、宇商は飯岡、新井が継投。2投手の踏ん張りや無失策の堅い守備で、狙い通りスコアの接戦に持ち込むことに成功した。しかし頼みの打線が散発の4安打に抑えられ、持ち味の勝負強さを発揮することもできなかった。

▽2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
宇都宮商	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
鳴門	0	0	1	0	0	0	0	1	×	2

(宇)飯岡、新井-佐藤(鳴)板東-日下  
▽三塁打 柴山(宇)▽二塁打 五十嵐、君嶋(宇)伊勢、中野(鳴)



宇都宮商一鳴門(徳島)2回戦 3回表宇商無死、右中間三塁打を放った柴山が高々と左手を突き上げる。23日午前、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場